

-CO₂

+CO₂

北の大地から発信!! カーボン・アクション

道産クレジットを活用した カーボン・オフセットのススメ

北海道カーボン・アクション・フォーラム
(北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室)

2014.2



カーボン・オフセットとは？

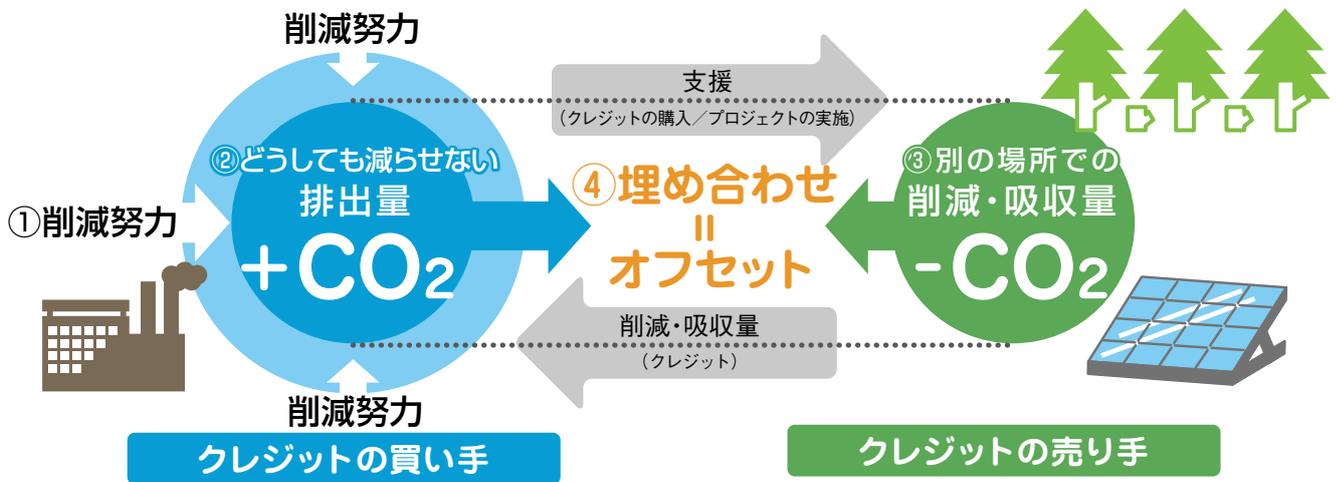
カーボン・オフセットとは…

道民、企業等が、

- ①自らの温室効果ガスの排出量を認識し、
 - ②主体的にこれを削減する努力を行うとともに、
 - ③削減が困難な部分の排出量について、
 - ・他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等（クレジット）の購入
 - ・他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動の実施等
- により、削減が困難な部分の排出量の全部又は一部を埋め合わせることで。



カーボン・オフセットの仕組み



カーボン・オフセットに期待される効果

- 自主的な温室効果ガス削減の取組の促進
- 自らが地球温暖化対策に貢献する機会の提供
- 温室効果ガスの排出がコストであるという認識を広め、低炭素社会への転換の機運を醸成



カーボン・オフセットに取り組むメリット

CSR 企業価値の向上

地球温暖化への関心が高まると共に、温暖化対策に取り組む企業を評価する消費者や投資家が増えています。カーボン・オフセットは、新しい地球温暖化対策として消費者・取引先・株主等ステークホルダーへのアピール力の高い取組です。

先駆的取組 他社との差別化

環境配慮型商品の展開により他社との差別化を図り、新たな商品戦略を築くことが可能となります。特に消費者の求める環境への付加価値で差をつけるのに有効です。

地球のために 地球温暖化対策 の場を消費者へ

カーボン・オフセットイベントの開催や、商品やサービスを通じた消費者の日常生活のCO₂排出のオフセット等を行うことで、消費者が気軽に参加できる地球温暖化対策の場を提供することができます。カーボン・オフセットを通じた消費者との双方向のコミュニケーションは、企業のイメージアップへつながる重要な要素です。

カーボン・オフセットの分類

市場流通型 市場を通じて第三者に流通するクレジットを活用したカーボン・オフセット

商品使用・サービス利用オフセット

商品を製造・使用・廃棄したり、サービスを利用したりする際に排出される温室効果ガス排出量をオフセットするもの。

例



清涼飲料水製造の過程に排出されるCO₂をオフセット



ツアー代金にオフセット料金を上乗せして、航空機等の使用によるCO₂をオフセット

会議・イベント開催オフセット

会議やコンサート、スポーツ大会等の開催に伴って排出される温室効果ガス排出量をオフセットするもの。

例



スポーツイベントの開催時に排出されるCO₂をオフセット



セミナーの開催時に排出されるCO₂をオフセット

自己活動オフセット

自らの活動に伴って排出される温室効果ガス排出量をオフセットするもの。

例



公共工事の実施の際に排出されるCO₂をオフセット



自らの自動車使用に伴うCO₂をオフセット

自己活動オフセット支援

商品・サービスを介し、当該商品・サービスを購入・利用する消費者個人の日常生活に伴う排出量のオフセットを支援するもの。

例



飲料の購入者の日常生活から排出されるCO₂をオフセット



お菓子の購入者の日常生活から排出されるCO₂をオフセット

特定者間完結型 市場を通さずに特定者間のみで実施されるカーボン・オフセット

企業活動とは別の場所で排出削減活動を行ったり、植林や間伐を行うことで、温室効果ガスの埋め合わせを行うもの。



自治体が行う「企業の森林づくり制度」の植林活動に参加してCO₂をオフセット



カーボン・オフセットの実手順

① 自らの排出量の把握 オフィス、移動(自動車・鉄道)などでの自らの温室効果ガス排出量を把握、認識

対象となる活動の例

- オフィスでの事業活動(電気、燃料の使用など)
- 公共工事の実施(重機、車輛の燃料の使用など)
- 会議・イベントの開催(会場施設の利用、来場者・スタッフ等の移動など)



② 削減努力の実施 省エネ行動や再生可能エネルギー導入、環境負荷の少ない交通手段の選択など、温室効果ガスの削減努力を実施

削減努力の例

- 不必要な照明の消灯
- 省エネルギー型のOA機器の導入
- 社用車におけるエコドライブの実践
- 公共交通機関の利用 など

③ 埋め合わせる対象活動の範囲からの排出量を算定 削減困難な排出量を把握

活動の範囲(バウンダリ)の設定

排出量の算定を行うために、まず、オフセットする活動の範囲(バウンダリ)を定めます。原則として、カーボンオフセットの活動範囲は、オフセットを行う者が、その目的や排出に係る自らの責任範囲も考慮した上で主体的に選ぶことができます。



温室効果ガス排出量の算定

活動の範囲(バウンダリ)を決定したら、次にその排出量を算定します。排出量は、基本的に次の式で算定可能です。

『活動量(使用量や使用回数)』×『排出係数(基準単位当たりの温室効果ガス排出量)』

活動量と入手方法(例)

- 電力、ガス、灯油、水道などの使用量
(メーターや請求書に記載された使用量等)
- 交通手段と移動距離(地図やアンケート等)
- 人数(社員数や申込者数等)



排出係数

- 電力、ガス、水道会社などが公表している排出係数(ホームページ等)
- 地球温暖化対策推進法に基づく排出係数
- その他のデフォルト値(「ガイドライン」等)

④ 埋め合わせ 他の場所で実現された排出削減量・吸収量(クレジット)による埋め合わせ

市場流通型のクレジットは、クレジットの創出者から直接購入することもできますが、仲介事業者のオフセット・プロバイダーから購入することもできます。



⑤ 情報の提供・公開 オフセットに関する適切な情報を提供・公開



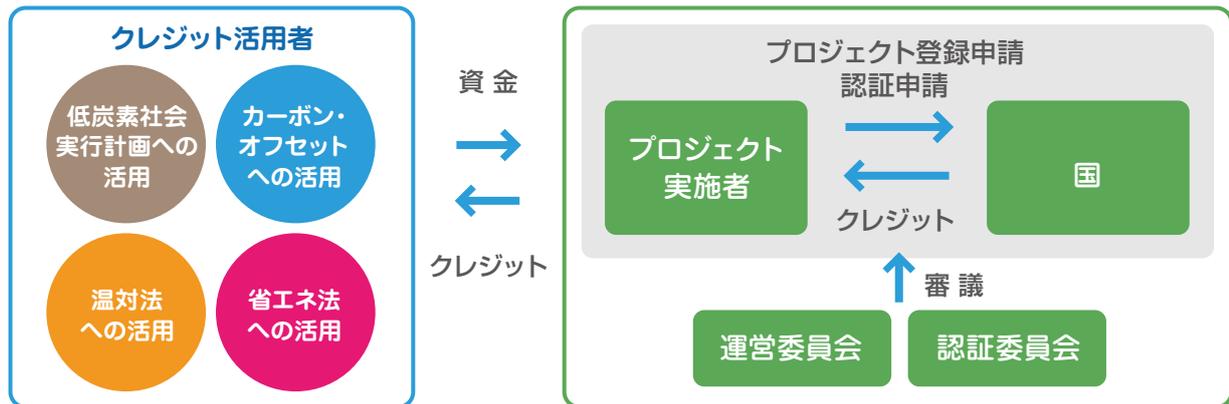
J-クレジット制度について

J-クレジット制度とは？

J-クレジット制度は、省エネルギー機器の導入や森林経営などの取組による、CO₂などの温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。

国内クレジット制度とJ-VER制度が発展的に統合した制度で、2013年から国により運営されており、本制度により創出されたクレジットは、低炭素社会実行計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。

J-クレジット制度の概要



クレジット購入のメリット

クレジット購入者は入手したクレジットを、以下のように活用できます

- カーボン・オフセットなどへの活用
オフセットによる環境への貢献をPRすることで、企業や製品を差別化し、製品・サービスや企業自体の価値を向上させるなど、ブランディングに利用可能です。
- 低炭素社会実行計画の目標達成のための活用
2020年のCO₂削減の数値目標を設定した低炭素社会実行計画の目標達成に利用が可能です。
- エネルギー使用の合理化に関する法律での活用
省エネルギー事業によるクレジットを省エネ法の共同省エネルギー事業の報告に利用可能です。
- 地球温暖化対策の推進に関する法律での活用
温対法の調節後温室効果ガス排出量の報告に利用可能です。

カーボン・オフセットに活用できる制度

J-クレジットをはじめ、カーボン・オフセットに活用できる制度には、次のようなものがあります。

| 名称 | J-クレジット | J-VER | 国内クレジット | グリーン電力証書 | 京都メカニズムクレジット |
|----|--|---|--|---|--|
| 概要 | 制度の更なる活性化を図るため、J-VER、国内クレジット制度を一本化し、利便性を向上した制度(2013年4月～) | 国内の自主的な温室効果ガス排出削減・吸収プロジェクトから生じた削減量等を認証しクレジットとして発行する制度 | 中小企業や自治体等が行った排出削減事業に大企業等が資金提供するプロジェクトを認証し、クレジットとして発行する制度 | 再生可能エネルギーによって発電された電力という環境付加価値を証書化し、市場で取引可能にした制度 | 先進国が途上国等で排出削減・吸収プロジェクトを実施した場合に生じた削減量等について、国連の認証により発行される排出枠 |
| 対象 | 二酸化炭素等の排出削減・吸収プロジェクト | 二酸化炭素等の排出削減・吸収プロジェクト | 二酸化炭素等の排出削減プロジェクト | 再生可能エネルギーによる発電 | 排出削減・吸収、再生可能エネルギーなど多岐にわたる |
| 所管 | 経済産業省、環境省、農林水産省 | 環境省 | 経済産業省、環境省、農林水産省 | クリーンエネルギー認証センター | 国連気候変動枠組条約事務局 |

※J-VER制度、国内クレジット制度で既に認証されているクレジットの有効期限は2020年度末までとされています。



北海道産クレジットの魅力

クレジット創出者

地球温暖化対策への地域貢献

北海道は、森林やバイオマスなどの多様な資源が豊富に存在しており、こうした本道の地域特性や強みを活かしてクレジットを創出することで、地球温暖化対策に地域からも貢献できます。

地域活性化に寄与

クレジットを創出することで、温室効果ガスの削減・吸収のみならず、道内の環境ビジネスの育成や地域の活性化にもつながることが期待されます。

クレジット購入者

商品・サービスの差別化

北海道で生み出されたクレジットを使用して、カーボン・オフセットに取り組むことにより、自然豊かな北海道の環境保全に貢献していることを、お客様等にアピールできます。

地域活性化に貢献

北海道で生み出されたクレジットを購入することで、北海道内でプロジェクトを行う事業者に資金が還流することとなり、道内での投資の促進や雇用の確保、それらを通じた地域活性化にも貢献することができます。

北海道産のクレジットの活用を通じて、
自然豊かな北海道の環境保全に貢献していることをPR



北海道産クレジット共通ロゴマーク

北海道カーボン・アクション・フォーラムでは、北海道産クレジットの活用促進を目的として、J-クレジットやJ-VÉR、国内クレジット等の各制度により北海道内において創出されたクレジットと、道産クレジットを活用したオフセット事例に共通して使用できる「北海道産クレジット共通ロゴマーク」を作成し、広く活用いただいています。

ロゴマーク活用のメリット



HOKKAIDO
CARBON CREDIT
©北海道カーボン・アクション・フォーラム

▲共通ロゴマーク

クレジットを創出される
事業者等の皆さま

一目で「北海道で生み出されたクレジット」であることがわかり、他のクレジットと差別化が図られます。

オフセットを実施
(クレジットを購入)される
事業者等の皆さま

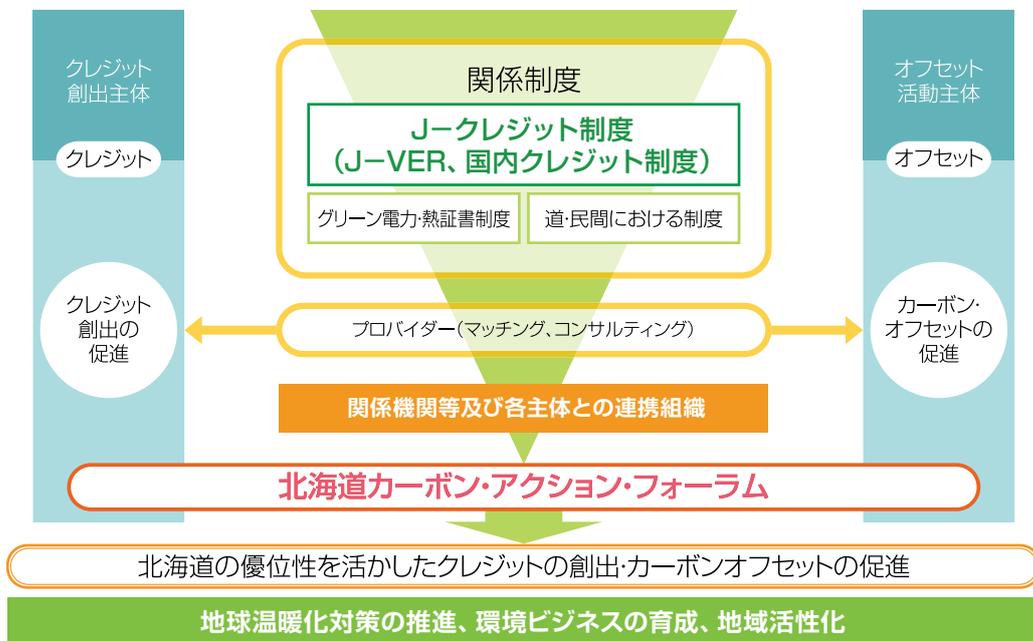
「北海道で生み出されたクレジット」を使用して、カーボン・オフセットに取り組んでいることが一目でわかり、自然豊かな北海道の環境保全に貢献していることを、お客様等にアピールできます。



北海道カーボン・アクション・フォーラム

森林やバイオマスなどの多様な資源が豊富に存在する本道の優位性を活かしながら、カーボン・オフセット等の取組を加速することによって、北海道らしい地球温暖化対策を推進することを目的に、平成22年11月に設立しました。

行政、企業・団体、学識経験者の連携のもと運営し、カーボン・オフセットに関する情報発信や相談支援などを実施する組織です。



情報発信

カーボン・オフセットに関する制度や事例、道産クレジットなどについて、様々な情報を発信しています。

- ホームページでの情報発信
- メールマガジンの配信

相談支援

クレジットの創出からカーボン・オフセットなどのクレジットの活用まで、相談・支援を行う窓口を開設しています。

- 窓 口 北海道環境サポートセンター((公財)北海道環境財団)
- 場 所 札幌市中央区北4条西4丁目1 伊藤・加藤ビル4階
- 電 話 011-218-7881
- E-mail hef@heco-spc.or.jp

共通ロゴマークの申請受付

本フォーラムでは、北海道で創出されたクレジットをPRするため、J-クレジットやJ-VER、国内クレジット等の各制度から創出されたクレジットと、道産クレジットを活用したオフセット事例に共通して使用できるロゴマークを作成し、広く活用していただいております。

使用を希望される方は、フォーラム事務局までご連絡ください。

手続きの流れ



会員受付

随時会員を募集しています(年会費無料)。事務局までご連絡ください。

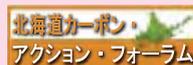
事務局／問合せ先

北海道カーボン・アクション・フォーラム事務局

北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室 電話:011-204-5189

北海道環境サポートセンター(公益財団法人北海道環境財団) 電話:011-218-7881

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/tot/carbonforum.htm>



北海道カーボン・アクション・フォーラム 検索



クレジット調達・活用を支援する取組

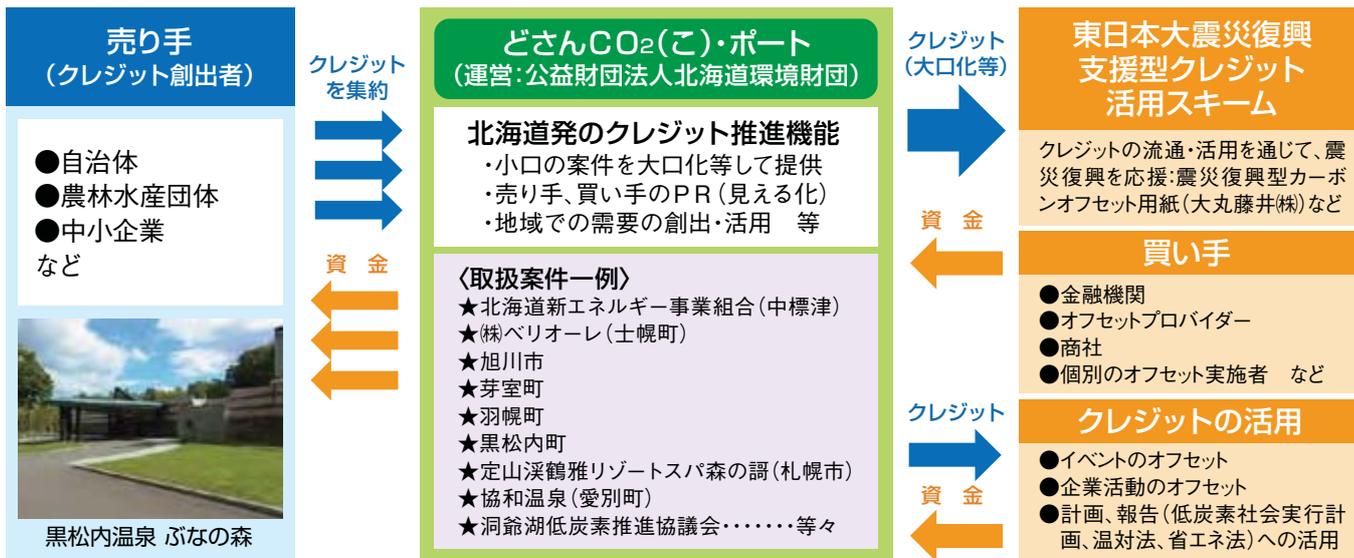
道内で創出されたJ-クレジット、国内クレジットを集約・提供

どさんCO₂(こ)ポート

<http://www.heco-spc.or.jp/jcredit/port.html>

「どさんCO₂(こ)・ポート」は、J-クレジット、国内クレジットの流通・活用を促進し、社会・地域に貢献することを目的に、道内で創出された優良なJ-クレジット、国内クレジットを集約、大口化・商品化し提供するための仕組みです。

経済産業省北海道経済産業局の委託を受けて、公益財団法人北海道環境財団が管理・運営しています。



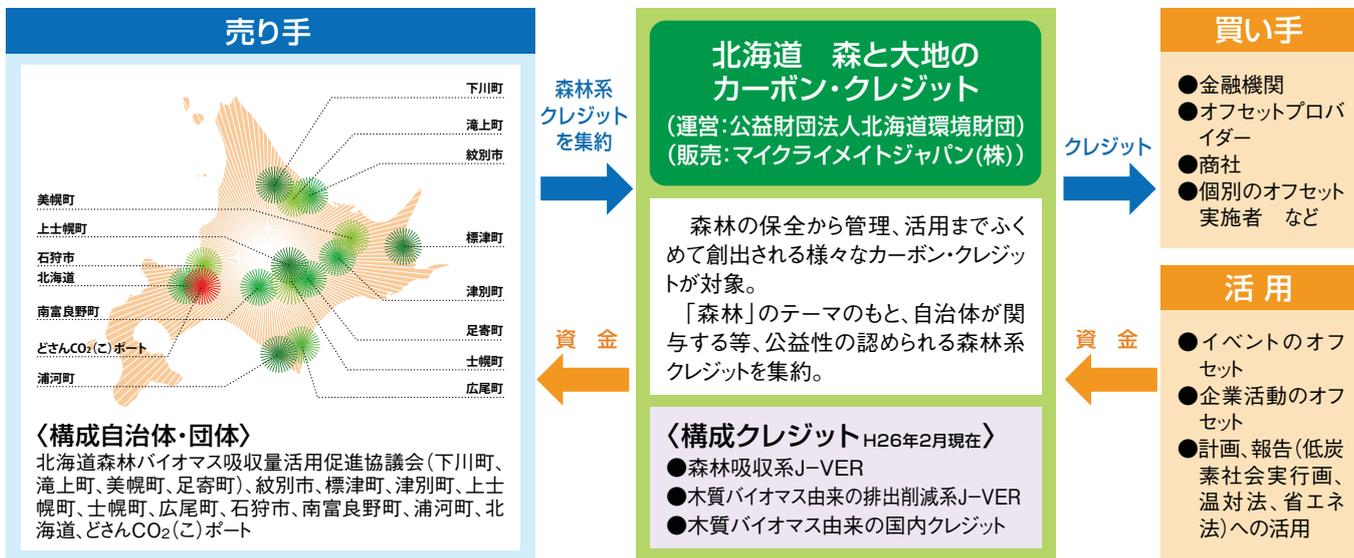
道内で創出された「森林」に関するクレジットを集約・提供

北海道 森と大地のカーボン・クレジット

<http://www.heco-spc.or.jp/CarbonCredit/>



「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」は、森林やバイオマスなどの豊かな自然環境に恵まれた北海道各地において創出される、「森林」をテーマとしたクレジットを集約し、北海道を代表するカーボン・クレジットとして取りまとめ、提供する仕組みです。道内の多数の自治体との協働のもと、公益財団法人北海道環境財団が管理・運営しています。



道産クレジットを活用したオフセット事例

商品使用・サービス利用オフセット事例(J-VER活用) **吸**

カーボン・オフセット 玉ねぎ

～北の大地のカーボン・オフセット玉ねぎでめぐる森と健康のおいしさの輪～

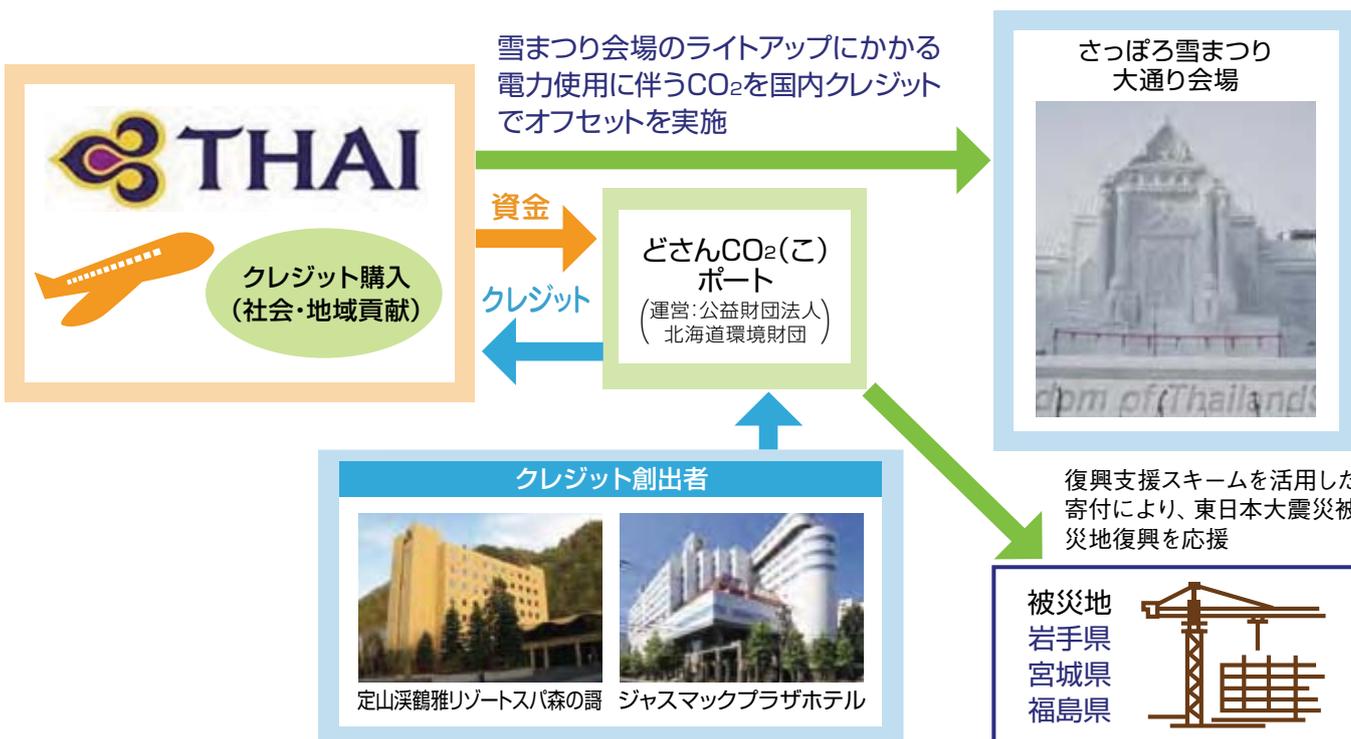
北見市玉葱振興会特別栽培部会、北見市こだわり野菜部会 真白栽培グループでは、減農薬・木炭土壌改良材を使用し栽培した玉ねぎ、「環(めぐる)」と「真白(ましろ)」の生産過程において発生するCO₂をオフセットしています。良質でクリーンな産地形成とカーボン・オフセットを通じて、からだと地球に優しい「北の大地のカーボン・オフセットたまねぎ」を全国へ供給します。



会議・イベント開催オフセット事例(国内クレジット活用) **削**

第64回さっぽろ雪まつり

タイ国際航空では、札幌ーバンコク線通年運航開始を記念して、さっぽろ雪まつり実行委員会が開催する第64回さっぽろ雪まつり会場のライトアップから排出されるCO₂をオフセットするとともに、東日本大震災の被災地への支援を実施しました。



凡例

吸 吸収系プロジェクト

削 削減系プロジェクト

価 環境価値の証書化

主催イベントの電力使用をオフセット

生活クラブ生活協同組合では、2013年10月6日に開催した「わくわくまつり」の準備と当日に使用した電気について、石狩市内の市民風車「かぜるちゃん」のグリーン電力証書(4000kWh)を活用し、自然エネルギーを使用しました。



カーボン・オフセットしたアルコール飲料 ～北海道の森を元気にしよう! 共同キャンペーン～

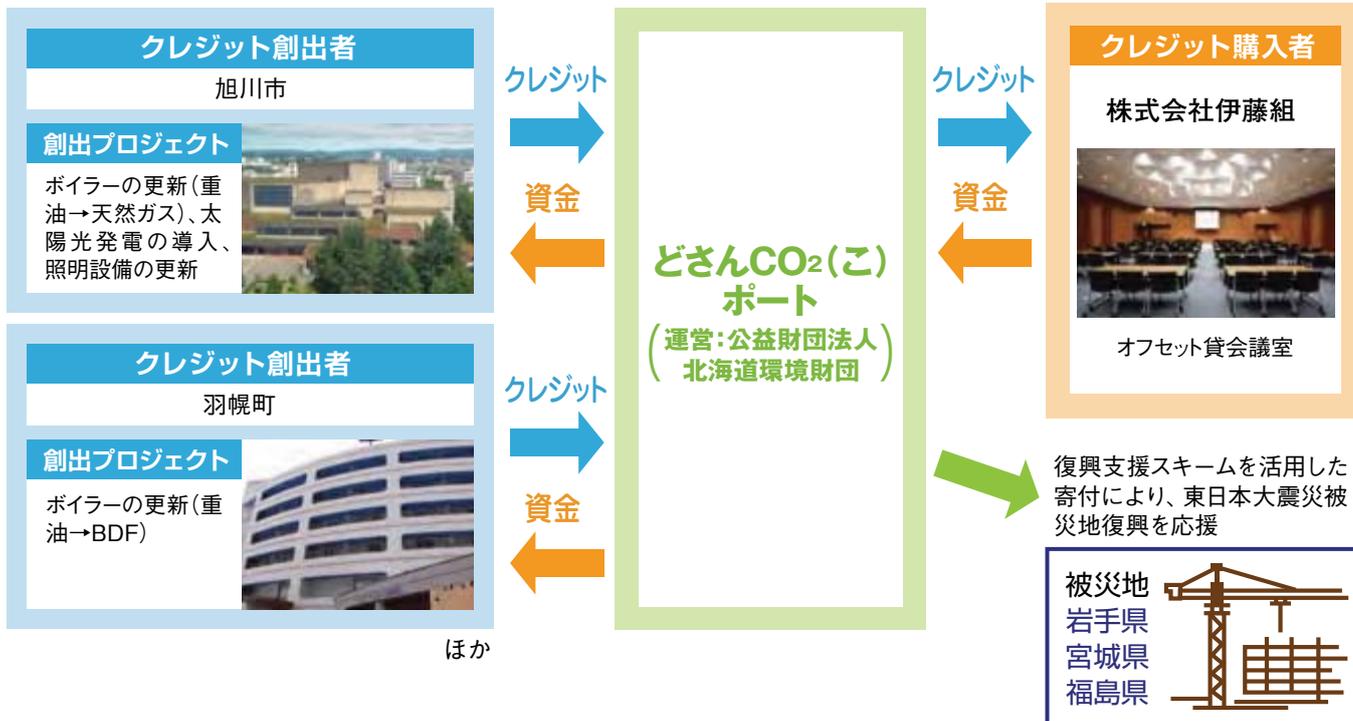
生活協同組合コープさっぽろ、サッポロビール株式会社では、コープさっぽろ限定缶「サッポロ麦とホップ 北海道の森に乾杯缶」を発売、1缶につき1円分のCO₂約66g-CO₂をカーボン・オフセットし、北海道内の森林整備活動に貢献するキャンペーンを実施しました。さらに、売り上げの一部を「コープ未来(あした)の森づくり基金」に寄付し、あしたの森を育てる活動にも貢献しました。



自己活動オフセット支援事例(国内クレジット活用) **削**

通年型・カーボン・オフセット貸会議室

株式会社伊藤組では、自社で管理・運営している札幌国際ビル8階貸会議室の使用において排出されるCO₂を、どさんCO₂(こ)ポートで運用している北海道内で創出されたクレジット(旭川市、羽幌町等)を活用し、オフセットすることで、通年型カーボン・オフセット貸会議室として貸出しています。



自己活動オフセット事例(J-VER活用) **吸** **削**

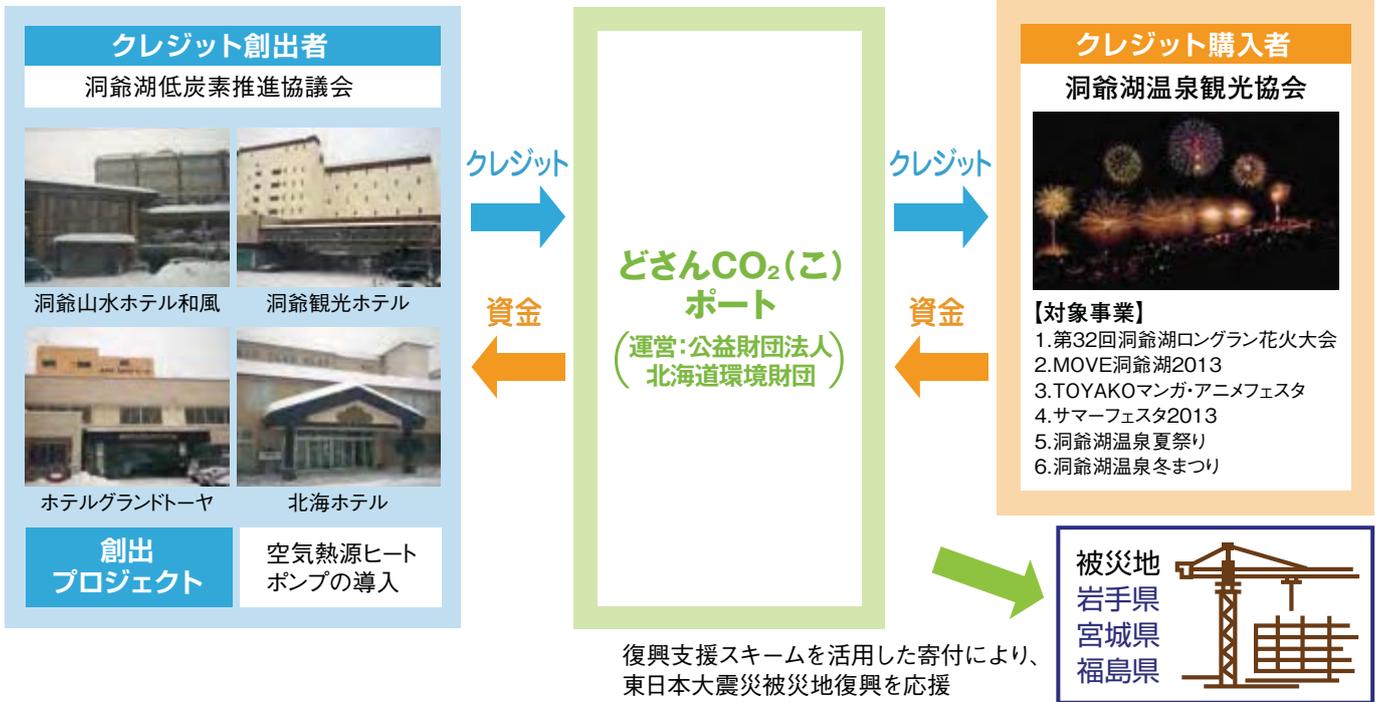
事業活動や社員の家庭から排出されるCO₂のオフセット

株式会社プリプレス・センターでは、オフィス・工場で使用する電気や製品の輸送、社員(有志)の家庭から排出されるCO₂の一部について、「北海道 森と大地のカーボン・クレジット」の仕組みを通じてカーボン・オフセットし、北海道全域の森林保全に貢献しています。また、国内クレジットや植林を通じたカーボン・オフセットも行っています。



環境に配慮した観光地・温泉街の取組：洞爺湖温泉

環境に配慮した観光地・温泉街の取組として、洞爺湖地域で創出された国内クレジットを活用し、洞爺湖ロングラン花火大会など、洞爺湖温泉観光協会が実施する6事業から排出されるCO₂をオフセット。



米貯蔵に使った冷熱を札幌ドームの空調に

美唄市農業協同組合が設置した「美唄雪蔵工房」は玄米の貯蔵施設で、年間約3,600トンの雪を利用しています。札幌ドームでは、冷房2日分に相当する冷熱にグリーン熱証書を活用しました。



凡例

吸 吸収系プロジェクト

削 削減系プロジェクト

価 環境価値の証書化

北海道カーボン・アクション・フォーラム(北海道環境生活部環境局地球温暖化対策室)

※このパンフレットは、平成25年度電源立地地域対策交付金事業により作成しました。

※このパンフレットは、震災復興型カーボン・オフセット用紙を使用することにより、CO₂削減事業ならびに東日本大震災被災地復興を応援しています。

※このパンフレットは、環境にやさしいベジタブルオイルインクで印刷しました。